



揮毫 伊藤茂男氏

| |
|-------------|
| 鎌田地区 |
| 平成28年5月1日現在 |
| 世帯数 8,680 戸 |
| 男 9,844 人 |
| 女 9,497 人 |
| 発行 鎌田地区公民館 |
| 公民館編集委員会 |

地域と共に歩む学校



松本市立信明中学校 校長 山後 浩行

● 新任 あいさつ ●

この度、信明中学校第11代校長として着任させていただきました。本校では、学校教育目標具現化のため、「おらが学校」づくりを重点のひとつに掲げています。昨年度設置された、松本版・信州型コミュニティスクール運営委員会「おらがしんめい」の推進を軸とし、「ネットワークの構築」「地域に学ぶ・地域の支援」「地域に貢献・発信」の3つを柱に、地域の人材・自然・文化財等の活用とともに、学びの場を地域に広げることに力を入れていきたいと思っております。

校長として、「子どもたちが安心して楽しく通うことができ、爽やかな笑顔と真剣な眼差しがあふれる学校」「地域を愛し、地域に愛され信頼される学校」を目指したいと考えています。そのために、鎌田地区公民館および地域の方々のご支援・お力添えをよろしくお願いいたします。



鎌田地区 地域づくりセンター センター長 伊藤 和宏

● 新任 ●

この4月の人事異動で地域づくりセンター長兼公民館長補佐に着任しました。市役所に入って20数年経ちますが、これまで福祉、農政などの部署において、公民館等の社会教育に係るのは今回が初めてです。鎌田地区住



あがたの森文化会館 館長 遠藤 彰

● 退任 ●

鎌田地区で平成23年度から公民館、センター準備職員を経て地域づくりセンター長として計5年間、在籍させていただきました。この間、地域防災・減災のために避難所設営訓練、地区の一体感形成のために鎌田、開明両校の小学校交流事業などに取り組んでまいりました。これらは、町会長の皆さんをはじめ、

民の公民館活動がより良い形で進められるように頑張りますので、よろしく願っています。

着任して、地区で初めての仕事は小、中学校入学式での市長祝辞の代読でした。先生方の話では桜が満開の中で迎える入学式は記憶にないとのことでした。

新たな仕事に取り組み自分と新1年生の皆さんの気持ちを重ねて、身のしまる思いを感じました。満開の桜の中で迎えた新たな職場への期待に胸をふくらませる思いです。

鎌田地区のことを学び、住民の方を知り、地域のお思いが少しでも実現できるようお手伝いできればと考えています。

いろいろな機会でも多くの皆さんのお話が聞ければ、ありがたいです。

各種団体の皆さん、地域の皆さんのご協力で、進めることができました。

第2福祉ひろばの建設中止に伴う交通システムの構築や地域包括ケアシステムの構築などまだまだ課題が山積していますが、地域の皆さんが中心となった地域づくりに取り組みでいただき、「任んでいて良かった鎌田地区」となることを心から願っています。鎌田地区の皆さんなら、きっと実現していただけたと思っ

ています。

5年間本当にありがとうございました。

(前地域づくりセンター長)

鎌田地区へ スウエーデン視察団来る!

4月4日スウエーデン・ソッレンテューナ市から、社会教育学者・社会福祉研究者・行政職員らで構成する視察団11名(女性7名・男性4名)が、地域での社会教育や福祉活動の実態を視察するために鎌田地区を訪れた。

松本市の公民館活動を良く知る名古屋大学大学院・松田武雄教授によって、地方都市として唯一、松本市が選ばれた結果、鎌田地区が受け入れ

をする事になった。

一行を福祉ひろばに迎えて、地区団体役員ら(鎌田地区公民館、町会連合会、町内公民館長連合会、ボランティア部会、日赤奉仕団)が、左記の各種実施事業の紹介・説明を行った。

説明会はボランティア部会と日赤奉仕団から、外国人にはものめずらしい桜餅・桜茶・豚汁が振舞われ、和やかに進められた。

スウエーデンには公民館や福祉ひろばが無いこともあり、説明後の質疑応答は活発に行われ、「公民館・ひろばの役割・運営・資金は?」「子ども達のリーダーを育成する目的は?」ほか、多くの質問が

行った。

今回はこちらからの発表と質疑応答に終始し、スウエーデンの実状を聞く時を逸してしまったのが残念だったが、改めて今後、より一層、地域づくりに励まなければならぬと思う良い機会にもなった。

(竹内 賢)

- 紹介事業 ●
- ① 松本市の公民館と福祉ひろばについての概要
- ② 自然と遊ぶ in 朝日村
- ③ 東日本大震災復興応援イベント
- ④ 地域包括ケアシステム
- ⑤ これで安心鎌田地区
- ⑥ ふれあい健康教室
- ⑦ ニコニコサロン
- ⑧ 歩こつかまた健康ウォーキング
- ⑨ 地域のお宝発表会 など



鎌田地区認定お宝一覧

- 中条南 「荒井茂一さん」
- 井川城上区 「小松菜栽培」
- 井川城中区 「記念切手」
- 井川城下区 「井川城跡」
- 鎌田 「鎌田菅八公廟趾碑 拓本」
- 両島 「お八日念仏掛け軸・数珠」
- 笹部 「野々宮神社土俵」
- 征矢野 「善光寺西光庵」
- 高宮 「高宮町航空写真」
- 石芝 「夏秋蚕倉庫跡」
- 石芝東 「和太鼓」
- 昭和町 「河澤茂さん」
- 月見町 「月見町公民館」
- 五月町 「ささへ認定子ども園」
- 南原 「鎌田地区球技大会成績」
- 弥生町 「いのぼり」

(地域づくりインターン 塚原有香)

うちのお宝はこれだ！

3月19日に公民館大会議室で「鎌田地区お宝発表会」が開催され、発表者を含めて約40名が集まった。各町会が自慢のお宝を披露し、地区の魅力を再発見しながら住民が交流した。

とても幅広い分野から思いがこもったお宝が左記のように集まり、実物や写真で発表された。参加者から活発に質問や感想が寄せられ、住民同士が地区のお宝を共有できる発表会となった。また、お宝として発表



紹介されたそば打ち名人の荒井茂一さんにそば打ちを披露していただき、打ちたてのそばを全員で味わうことができ、大変好評な交流会となった。今回発表された町会のお宝は冊子にして公民館においてありますので、興味のある方はぜひご覧ください。

東日本被災地の早期復興を祈って

お宝発表会と同日開催で東日本大震災復興応援イベントが行われた。被災地の早期復興を祈り、また、自らの防災意識の向上を願って鎌田地区子ども会育成会、日赤奉仕団が協力して毎年開催しており、平成23年震災の翌年から始めて今年で5回目となる。

13時から児童センターで小学生の子どもたちによる青竹キャンドル作りが行われ、竹にマジックで思い思いの絵や文字を描き、灯をともした時にどんな模様が浮かんでくるか想像しながらドリルやのこぎりで穴を開けた。参加者は「ドリルの使い方が難しい、初めてのこぎりを使った」など、悪戦苦闘しながら自分だけのキャンドルを作っていた。17時からは西部体育館で鎌田中学校、信明中学校の生徒による吹奏楽の演奏とまつよう太鼓JOYの皆さんによる和太鼓の演奏会が行われた。その後、西部体育館前で青竹キャンドルに灯をともし参加者、演奏者皆で黙とう。最後に日赤奉仕団による豚汁炊き出しが振舞われた。

震災から5年が経過し、被災地の復興はだいぶ進んだとも言われているが、未だに元の生活に戻ることができていない方も大勢いる現在、被災地の真の復興、心の復興はまだまだと言えらる。イベント参加者の祈りが少しでも被災地に伝わり復興に繋がって欲しい。

(竹内 賢)



かまを歩こう

市民歩こう運動

4月13日、「歩こう！かま

だ健康ウォーキング」略して「歩(ある)かま」を開催しました。この日は特別企画で、バスで高遠城跡まで行き、そこから「道の駅南アルプスむら」まで約6kのアップダウンの厳しい道なりを満開の桜の花を眺めながら歩きました。本来ならゆっくりお花見気分を味わいたかった気持ちを押しさえ、目的のウォーキングに徹しました。

昨年からは毎月1回開催していますが、歩くきっかけづくりや習慣づけとなり、健康促進や仲間づくりにつながっていくばと思っています。

「歩かま」はただ歩くのではなく、毎回テーマを決めて歩きます。鎌田地区の歴史巡りだったり、水巡りや、川沿いを歩いたりして、鎌田地区の知らなかつたことや、知らなかつた場所が再発見できることが期待されています。

また、「歩かまカード」を作り、参加すればスタンプを押してもらえ、10個になれば素敵な景品と交換出来るという楽しみがあり、これもまた、ひとつの励みにつながっています。



(福祉ひろば 関澤まゆみ)